

千里山駅発着の路線バス小史

二十四回生 奥田 陽一

千里山まちづくり協議会発行の「ちさとの風」
(春号 2018.4.30 発行)に東口に新しく開設された
交通広場からJR吹田へ向かう阪急バス路線が三月
三十一日に新設されたとの記事が載っておりました
(縮小しており読み辛いのですがカラーページ及び
以下にご紹介するpdfをご覧ください)
<http://www.skyfull-stars.net/web-strage/senryamachisato-wind-30.pdf> スカイフル・スターズ小島 功様提供

千里山からJR吹田まで20分位で着くらしく、
市民病院経由です。大昔？豊津からの移転以来市民病
院に行きづらくなつたと感じる方々には朗報です。
千里山へ行かれる機会がありましたら、一度試乗され
ることをお勧めします。

これは実に五十四年ぶりの快挙であり、「エッ、
千里山に路線バスが来ていたの」と驚かれる皆様の
ご参考に、これまでの歴史を調べてみました。

一・千里山駅からゴルフ場経由山田弘済会行き

京阪バスは昭和六年十月新京阪線吹田町駅(現在の
阪急京都線相川駅)から国鉄吹田駅を経て片山に至る
バス営業の免許を受けたが、乗客が余りに少ないので
八年七月十三日を以て路線を廃止、その代わりに昭和
九年八月七日、千里山駅から山田村弘済会までの四・

二・千里山駅から上新田・山田弘済院経由

国鉄吹田駅前行き再開

阪急バスは昭和二十六年六月一日京阪バスから路線
免許を譲り受け、休止中の路線を再開しました。この
時小生は千二小の五年生、千里山駅前にひっそりと
バスが止まり、乗る人は全く見かけませんでした。

吹田一中へ至る坂道や牛毛首池を通るバス道の両側
は竹藪と田圃、畑があるだけで人家はなく、どんな人
が乗るのか何時も不思議に思っておりました。

小生は一本松や牛毛首池へはよく魚釣りなど、遊び
に行きましたが、お金もないし全て徒歩、バスに乗っ
た経験は一度もありません。

阪急バスも赤字に耐えかねたのか翌年の昭和二十七年
七月一日に千里山―山田弘済院、国鉄吹田駅前―片山
間が廃止となりました。

三・千里ニュータウン佐竹台地区まちびらき

に伴う路線再開。

昭和三十七年九月十五日、第一期佐竹台住区のまち
びらきに伴い、前項の路線が十年ぶりに復活しました。
阪急電車の新千里山(現在の南千里)延伸工事が未完
成で、佐竹台地区が、陸の孤島にならぬ様再開された
ものです。

十三年になると支那事変が拡がってガソリン統制が
強まり、木炭バスが走る様になり、バス事業は次第に
困難となつてきた。太平洋戦争に突入、ゴルフ場も
閉鎖され畑となり、バス路線は順次休止される運命と
なった。

以上千里山会誌8号千里山人「千里山開発物語」(七)
より引用

九回生の岩橋千賀子さんは女学校時代このバスが
走っていたのをよくご存じでした。

六キロのバス営業の免許を受けた。千里山―下新田―
牛毛首池―石川―弘済会の四区に分けて、一区五銭、
十人乗りバス一両を以て午前七時より午後七時まで
一時間毎に走らした。十年七月一日山田ゴルフ公園が
開かれた。ゴルフ客は皆このバスを利用するので、
「ゴルフ場前停留所」を牛毛首・石川間に新設、
又土曜日曜祭日には十三人乗りバス二両を増車して、
千里山駅―ゴルフ場間の折り返し運転をすることとし、
十年九月二十三日運転系統増設の認可を受けてい
る。

*又、十年九月十五日千里山駅前にハイヤー営業を始
めた(住宅地内一律五十銭)、ゴルフ場まで四人乗り
合いで六十銭)。

当初の千里山への運行回数は一日20回だったそうです。

当時の運行路線

千里山ー千里ニュータウンー国鉄吹田
千里山ー千里ニュータウンー山田弘済院
国鉄吹田ー千里ニュータウンー山田弘済院

その後昭和三十八年六月十日第二期・高野台地区のまちびらきがあり、ニュータウン内の路線が延長され、千里山への運行回数も何と一日129回に増えたそうです。

小生も当時会社に通うため、毎朝千里山駅から電車に乗っていましたが、ニュータウンからのバスが着いて、どっと通勤・通学客がはき出され、始発駅なので必ず坐っていたのが、あまり坐れなくなりました。

昭和三十八年八月二十九日新千里山駅開業、同駅がバスターミナルとなり千里山ー千里ニュータウン間のバス運行は廃止されました。千里山も始発駅ではなくなり、ラッシュ時に着く電車は増結されていても既に満席、坐れるなど考えもしなくなりました。

三項は以下のブログを参考にさせて頂きました。詳しく知りたい方はご覧頂きます様。

阪急千里山から千里ニュータウンへ（創設期の千里ニュータウン線）

<http://kbusst.blog106.fc2.com/blog-entry-3076.html>

四・終わりに 千里山住宅地内の公共バス

千里山住宅地は開発当初から、公共バスを走らせるという考えは全くなく、今も変わらぬ道筋の中で、路線バスが走れる道は限られております。

高齢化が進む中で、坂道を歩いて登るのが辛いと感じる方は多いと思います。小生も服部緑地駅から千里山への坂道はすごく辛いと感じるようになりました。

このためかと思いますが、第一項に紹介しましたが（*ご参照）既に昭和十年には千里山駅前にハイヤー乗り場が出来て、住宅地内一律五十銭（今の500円位？）だったそうです。

タクシーを呼ぶには、それなりの費用が掛かるので、住宅地内を巡回するコミュニティバスがあれば良いと思うのですが、「ちさとの風」によると地域の方々のご努力で昨年アンケートが行われ、今年度は予算が付き運賃・ルート設定や車種など詳細な検討が行われる段階になったそうです。

千里山団地・春日町を含め、高齢者にも便利なバスサービスが出来ることを期待しております。